

令和6年度 巖木高等学校一年生「総合的な探求の時間」における実践研究

佐賀大学教育学部 附属教育実践総合センター
助教 公認心理師 臨床心理士 大野愛哉

令和6年度活動計画

巖木高等学校では多様な生徒が同じ教室で共に学ぶ「インクルーシブ教育」が実践されている。その中で生徒1人1人がより充実した学校生活を送るためには、教員や支援員が生徒を支援するだけでなく、生徒同士が助け合い、支え合っていく環境や関係性を作っていくことが重要であると考えられる。そこで今回は、仲間同士の支え合いや助け合いを促進する「ピア・サポートプログラム」を導入する。「ピア・サポートプログラム」では、例えば“人の話の聞き方”や“対立を解消する話し合い方”、“相談の乗り方”といった対人関係を良好に形成していくために重要なスキルを学ぶ。このようなスキルを学び実践することにより、生徒同士の支え合い、助け合いが促され、クラス内の人間関係の深まり、生徒1人1人の自己肯定感や自己効力感の向上、自己理解の促進などに繋がっていくと考えられる。なお、本活動は佐賀大学教育学部附属教育実践総合センターの研究活動の一環でもあるため、活動成果は研究として学会や論文等で報告されることもある。

【対象】:1年生全員

【時間】:1コマ分の授業の時間×6回 *毎週木曜日の「総合的な探求の時間」を利用

【内容】:ピア・サポート, 多様性についての基本的知識の習得(講義), ピア・サポートプログラムの実践, プログラム前後でのアンケートの実施

テーマ	内容
1 導入・関係づくり	ピアサポート・多様性についての講義/アイスブレイク
2 聴き方①	聴く時の姿勢や態度(FELORモデル*)/肯定的ストローク*
3 聴き方②	閉ざされた質問・開かれた質問/相互的なコミュニケーション
4 問題解決	対立解消スキル(AL'Sの法則*) /断り方3ステップ
5 自己理解	自己理解ワーク(ジョハリの窓*) /相談の受け方についての講義
6 ストレスマネジメント	ストレスマネジメントワークショップ/リラクゼーション

*FELORモデル: 傾聴スキルの1つ。顔を向ける, 目線を合わせる, 話を聴く, 心を開く, リラックスする
*肯定的ストローク: 他人の存在を認めるための肯定的な行動や働きかけ(ほめる, 励ます, 微笑む)
*AL'Sの法則: 対立問題解決スキル。相手の話を遮らない, しっかり聞く, お互い解決しようと努力する
*ジョハリの窓: 自己分析・自己理解を行うワーク。「自分から見た自分」と「他者から見た自分」という観点から自己理解

【授業日予定】3限目…3・4組合同 4限目…1・2組合同

①5月2日(木) ②5月9日(木) ③5月23日(木) ④5月30日(木)

⑤6月6日(木) ⑥6月13日(木) ●7月11日(木)放課後…教員への分析結果説明等